

京都コーナーで
平安京を調べよう！

11月1日 古典の日
文化庁京都移転記念展示
同時開催

Vol.24

調べもののおてつだいカウンター
京都市中央図書館 参考図書室

今回は…【紫式部】に関する図書をご紹介します。

【紫式部】とは…平安中期の女流作家。越前守藤原為時の娘。
藤原宣孝と結婚し、夫の没後、「源氏物語」を書き始める。
一条天皇の中宮彰子(しょうし)に仕え、藤原道長らに厚遇された。
初めての女房名は藤式部。他に「紫式部日記」、家集「紫式部集」など。

『大辞泉 下巻 せ-ん 第2版』(小学館)p.3552“紫式部”の項より



◆『源氏物語花筐 紫式部の歳時記を編む』

(岸本 久美子／著 幻冬舎メディアコンサルティング)

請求記号 L/913.36/キ

「源氏物語」に描かれた四季折々の風物が写真とともに紹介された本です。
写真に合った原文も載っているので、「実は古典が苦手…」という方でも、
「源氏物語」の世界が更に想像しやすく、大変読みやすい一冊です。



◆『京都紫式部のまち その生涯と「源氏物語」』(坂井 輝久／編 淡交社)

請求記号 L/910.23/サ

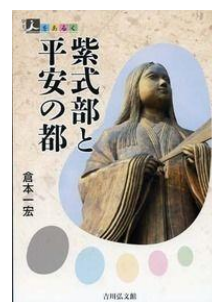
紫式部の邸宅跡とされる「廬山寺」を始めとした、京都に遺された「源氏物語」
の舞台を巡る一冊。地図、年表や、当時の家系図を添えて解説されています。
京都観光の際は、ガイドブックの代わりに旅のお供としていかがでしょうか？



◆『紫式部と平安の都』(倉本 一宏／著 吉川弘文館)

請求記号 L/910.23/ク

不遇な学者の子どもとして生まれながらも、大出世を果たした紫式部の生涯を
追い、物語執筆の謎に迫る本です。文学のみでなく政にも関わりをもつ才女の
一生とは？「源氏物語」だけでなく、歴史の勉強にもお勧めです。



◆『京都人にも教えたいたい京都百景』(鳥居本 幸代／編 春秋社)

請求記号 L/298.62/ト

紫式部が暮らしていた邸宅をはじめ、彼女が体験した都の風景や、「源氏物語」の舞台
である名所旧跡などを巡りながら、平安時代の暮らしを覗くことができる本です。
京都市街地図と12カ月のおすすめコースも掲載されています。



この他にも、関連する図書を所蔵しています。
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。
貸出・閲覧や、調べもののお手伝いをご希望の方は、
中央図書館2階・参考図書室へお越しください。

